くまぬして遊ぶこと久し、

八月廿二日　父風邪の氣味にて、終日臥す、貞一枕許にすわりて　團扇もてあふぐ。

八月廿四日　獨按摩といふ、くりもの丶道具あり、それを渡し　母の腕をさすつてと　手眞似して見せしに　おもしろがりて　母の腕を　なでまわす、

八月廿五日　今日十時半修善寺を出立す　大仁にて　瀧車の來るを待つ間　父母の辨當など使ふ中茶店の小女に負はれて遊ぶ、廿日ばかり、種々の人に馴れ親みて、人見しりせぬ樣になりたり瀧車にのりては　例の大きからぬ眼を、強いて見張り、外をきよろ〳〵と見る事、前日の如し、

歸宅早々　例の居間にて　貞チャンの御家と　宮樣はと　問ひて丶ろみしに　直ちにその方を指して笑ふ

廿日間　山間に轉地したる爲　著しく肥滿し　留守居のばあやを驚かせたり

松方伯海外貯金のはなし

▲歐米相競ふて貯金を奬勵す　歐米諸國では、非常の熱心を以て奬勵して居る、隨て其方法も百方講究するといふ有樣である、白耳義あたりでも郵便貯金の金高は驚くほどに上つて居る、其方法は大抵郵便切手を貼用する方法であるから、啻に取扱ひの簡便なのみでない、子供なども貯金することを一つの樂みとするほどであるから、自然盛んに行はれることになる、私は細かな表なども集めたが、但れの國も何分金高の位が日本と雲泥の差のあるのは耻しい

▲五千万や一億は容易なり　若し日本の四千五百万人が假に一圓づゝ貯金を有つて居るとすれば、即ち四千五百万圓は寢金で生きて來る道理で、二圓づつとすれば九千万圓、三圓づゝとすれば一億三千五百万圓となる、此れ丈けの金を生かして使へば何んなものであるか、一方には勤儉の風を養ふとが出來、地方には國家は之れに依て大きな仕事する實に一舉兩得とは此事である。

▲墺國の方法は尤も妙　乃で色々の方法もあるが私の感服した一つは墺地利であつて、夫れは何うするかといふと、例へば甲の客が乙の呉服屋から百圓の買物をする、スルと乙の呉服屋は一つの紙片を持て來て甲の署名と金高の書入れを求める、而して乙か此書付けを郵便局に持て行けば、郵便局には完全な臺帳が備へてあつて、甲の貯金から

拂出して乙の貯金に加へるといふ手續まで、ツマリ此書付けは手形の代りをする譯けで、甲、乙の貸借が振り換はる丈けであるが、實際の効用は眞に廣大なものである、此方法が墺地利のやうに一般に行はるれば、手許には一金も有たなくつても宜い、臺所の小拂ひまで此便法に由るのであるから、苟も金が手に入れば直に郵便局に預け入れて置く、引出しの必要があれば右の手續きで預金幾分の權利を其對手に讓り渡す、夫れ故一旦郵便局か預かつた金の大部分はチャンとした用途に充つることが出來て、現金が散らばらに世の中から隱れて仕舞ふ心配がない、現に牧野公使の所でも此方法を行つて居るので、手許に澤山の金を置く苦勞がないといふことである。

▲貯金の廣告至らざるなし　斯ういふ風に貯金を

奬勵して居るから、其廣告手段も至らざるなき有樣で、有らゆる場合を利用して居る獨逸などでは列車の中にまで廣告がしてある。

家庭に於ける所感（承前）

長野縣　飯塚忠次郎

（五）家庭の花

家庭の花、家庭の福音、そも何者の名稱でせうか即ち小兒そのものではありませぬか、實に小兒ほど無邪氣で、天眞爛熳で愛らしいものは世にはまたとありますまい、彼等の愛らしい口唇よりは斷へずたのしい慰藉の言葉、否一種の言ふべからざる音樂のしらべがわきいで、家人も之が爲めに慰められ憂きことも之がために忘れるのです、誠に家庭に於ける最大なる慰藉者はこの花の如き神の如き表裏なき小兒で御座います、そこで、彼等を養育するにはうかつには出來ません、餘程氣付けないとへんぱな人間ができあがつてしまいます又、進歩發達の早いことは彼等の最も歡迎すると